

Techno Report

No196

給水ポンプユニットの圧力タンクを点検しましょう。

給水ポンプユニットの圧力タンクに関わる不具合現象

圧力タンクへのエア―封入圧が不足するとポンプの起動頻度が増え、機械部品や電気部品の消耗が激しくなります。さらに消費電力増加, ポンプ加熱, ウォータハンマ, モーター保護装置の作動, モーター焼損など、様々な不具合の発生原因となり断水にまで至ることがあります。

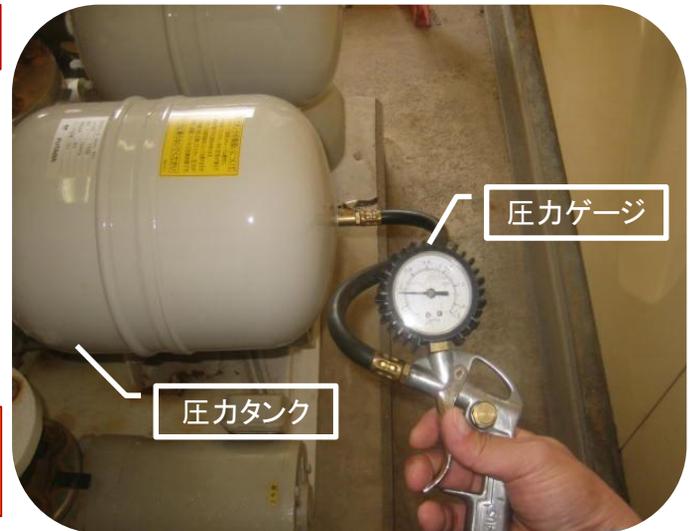
◆半年ごとの点検を推奨いたします！

半年ごとの点検で圧力タンク内の封入圧力を適正に保つことにより、ポンプ及びモーターの運転寿命を延ばすことができます。また、消費電力も抑えることができます。

◆3年ごとの圧力タンク交換を推奨いたします！

圧力タンク内はダイヤフラム(ゴム製)の隔膜で水室と空気室に分かれています。運転中はダイヤフラムが伸縮を繰り返すので徐々に劣化が進み、ダイヤフラムの破損に至る恐れがあります。ダイヤフラムの封入圧力低下や破損により、上記のような不具合現象が発生します。

圧力タンクの交換はメーカー推奨3年が目安となります。安心して使用していただくためにも定期的なメンテナンスを推奨いたします。



発行 藤田テクノ株式会社 テクノレポート発行委員会
〒370-0069 群馬県高崎市飯塚町1174-5
本社 TEL 027-361-8111 FAX 027-329-6221
太田支店 TEL 0276-46-1348 FAX 0276-49-1156
埼玉支店 TEL 049-279-3011 FAX 049-279-3012

2021年8月発行

URL: <http://www.fujita-tec.co.jp>

本紙は弊社よりの納品書等の郵送時に同封させて頂きますので重複等が発生する事がございます。予めご了承下さい。